

「冬の虹」(西村)

年末のある日、事務所の窓からくっきりと虹が見え、それぞれに写真を撮っている様子をパシャリと写真に収めました。虹というと夏のイメージがありますが、冬の虹は「時雨虹」といい、特に日本海側はこの「時雨」で天気が変わりやすく、夏の夕立と同じような状態が起こる為、第二の虹シーズンといわれるようです。虹というとなかなか見れないので、虹を見るとラッキーな幸せな気分になり、そして何か良いことが起きそうな前向きな気持ちになります。レインボー・ステイト(虹の州)と呼ばれるハワイでは、虹は幸運の象徴として愛されていて、「No Rain, No Rainbow (雨が降らねば、虹は出ない)」、つまり「困難な出来事のもとには、きっと良いことがやってくる」ということわざがあるそうです。令和5年がスタートしましたが、このことわざを胸に刻み、この1年前向きに頑張りたいと思います。



知っところ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【国税も手軽に Pay 払い】

国税は、申告した税額に基づき納税者自身が期限までに納付する必要があります。これまでは金融機関の窓口で納付したり、指定した口座からの振替による納付がほとんどでした。ところが最近ではクレジットカードやインターネットバンキングなどを利用した納付、e-Taxによるダイレクト納付、コンビニでのバーコード納付などといったいろいろな方法があります。これに加えて2022年12月1日からスマートフォンのアプリによる「Pay 払い」が可能になりました。これまでもクレジットカードを使った納付はありましたが、利用者が金額に応じた手数料を負担する必要がありました。しかし Pay 払いでは手数料は発生せず、利用者に負担が生じません。現在、利用可能な Pay 払いは6種類あります。「アカウント残高を利用した支払い方法のみ利用可能」で、一度の納付での上限額は30万円です。キャッシュレス法をもとに税金など国や市町村への支払いのキャッシュレス化はますます進んでいくでしょう。



世界の偉人伝

今月の偉人：【マリ・キュリー】

キュリー夫人はポーランド出身の物理学者・化学者です。放射性物質の研究に生涯をささげ、放射能やラジウムの発見によりノーベル物理学賞と化学賞を受賞しました。2度の受賞は人類初の偉業である上、男女差別が常識の時代に女性の受賞も史上初。女性研究者の地位の確立にも貢献しました。研究の成果に特許を取らず、富や栄誉を辞退したキュリー夫人は、自らを「科学に偉大な美を見る者のひとり」と語っています。ひたすら科学の美を追い、人類に奉仕した愛の人だったのです。

気軽に Let's 英会話

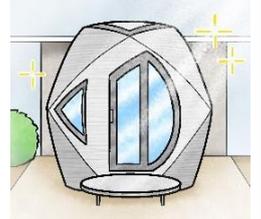
今月のキーワード：【bean】

節分の豆まきは地域によって異なり“peanuts”「落花生」派と“soy beans”「大豆」派に分かれるそうです。ちなみにピーナツは“nuts”「木の实」ではなく豆の仲間です。「枝豆」は“edamame”で通じる地域もありますが“green soybeans”といいます。「豆」を意味する“bean”は「コーヒービーン」などカタカナでも定着していますね。その「豆」を使った熟語に“spill the beans”「秘密を漏らす」があります。“Who spilled the beans!?”は「ばらしたの、誰なのよ!?’という意味です。



今月のトピック：【3Dプリンター住宅】

3D プリンター製の家が現実化しています。日本初の住宅「Sphere (スフィア)」は 10 平方メートルの球体型。一棟まるごと 3D プリンターで書き出すと 24 時間以内に完成し価格は 330 万円と格安です。この春には、電気や水道などを完備した一般住宅を 500 万円で販売予定だとか。住宅難の日本のみならず、未来型住居に世界が注目しています。



才人の言葉

思い出す価値のあることを

「キング・オブ・ロックンロール」と称されるエルヴィス・プレスリーの言葉。人の記憶に残らなくてもいいが、せめて自分の思い出になるようなことをしたいものだ。

イカの胴体の皮は大きいので一気にむけますが、薄く残った皮は野菜ネットでこすると細かいところまできれいに取れます。または開いたイカをバットに入れ、大さじ 1~2 の酢を薄皮に振り掛けて 3 分ほど待ってから皮を引っ張ると、残った皮がスルリとむけます。

知恵の衣

振り向けばあそこにも「商売のヒント」ここにも

今月の商売のヒント：【一次情報にこそ価値がある】

今から 2 年前、トヨタ自動車の豊田章男社長は「100 年に一度の大変革の時代を生き抜くために」という社長メッセージを出しました。「私は、トヨタを“自動車をつくる会社”から“モビリティカンパニー”にモデルチェンジすることを決断しました」から始まるメッセージの中で、約 100 年前の米国に 1500 万頭いたとされる馬が、今では 1500 万台の自動車に置き変わった現実を踏まえ「今はその時と同じか、それ以上のパラダイムチェンジを迎えているのではないかと問いかけています。過去の苦難を生き抜いてきた企業にはいくつかの共通点がありますが、そのひとつは「時代の変化への対応力」ではないかと思えます。フィルム製造から化粧品、医薬品へと分野を広げ、近年は医療用機器の製造受託にも注力している 2 兆円企業といえば富士フィルム。ゲーム機やゲームソフトで世界的に有名な任天堂の原点は花札。国内外で約 2 万店舗を展開するローソンは、元をたどれば米国オハイオ州の牛乳屋でした。時代を生き抜いてきた企業は、その時々で業種業態を変容させながら環境に適応する工夫をしてきたのでしょう。ところで、こうした良い例をいくら聞いても、人づてやネットの情報では実感が乏しく、自分事になりにくいものです。結果、頭で分かっているけど行動につながりません。そこであなたの周りに長く続いている商売があれば、ぜひ直接出向いて、ご本人から話を聞いてみてはいかがでしょうか。実際にやっている人が持っている「一次情報」にこそ、時代を生き抜く知識や知恵が詰まっていると思えます。



トナリの本棚

【月の立つ林で】

本屋大賞候補常連の青山美智子の最新刊。うまくいかない人生を嘆く主人公たちとともに、大切なことに気づいて新しい一日を生きていきたくなる一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎